

本校の入学試験は、十一月二日・四日に終了しました。本来なら一日・二日に試験を実施するところですが、日曜日を挟んだためにはごく普通に行われることです。）

入学試験に向けて保護者面談も実施しました。その濃密な時間を過ぎ超多忙な折も折、来年度の「東京私立小学校展」の挨拶文を書くようにとの依頼がきました。

「東京私立小学校展」は来年二〇二六年四月二十五日（土）、新宿NSビルで開催予定です。今年の入学試験も終わっていないのに、もう来年の話か！と、心中穏やかではありますでした。立場上（大変僭越ながら、私にこやかに！）お受けし、書き上げましたのが次なる文章です。



東京私立初等学校協会主催「東京私立小学校展」にお越しいただき誠にありがとうございます。協会加盟校を代表して、心より御礼申し上げます。

私立小学校について、少しでも興味があの方、小学校受験についてこれから考えようとなさっている家庭の方々にも安心してご来場いただけます。

「東京私立小学校展」実行委員一同、前年度の反省をもとに、今回の小学校展に向けて広告の媒体を変えたり、スムーズに色々な学

校に触れられるようにとブースの配置に工夫を重ねたり、努力はしてまいりましたが、不施するところですが、日曜日を挟んだために日程をずらしました。（キリスト教の学校ではごく普通に行われることです。）

東京都には私立初等学校協会の加盟校があります。それぞれの学校には、創立者の定めた建学の精神があり、その精神から導かれた独自の理念・教育方針に基づいた個性的な教育が実践されています。今日は、東京都の私立小学校が一堂に会し、自校の魅力について少しでも多くの方々にご理解いただけますようにと、各校の教職員が張り切って待機しております。

私立小学校は、明治以来の学制において義務教育をリードしてきたと自負しております。外国语教育、体験学習など各種の先駆的教育プログラム・カリキュラムの開発、また学校選択の自由を保障してきました。東京都内の私立小学校は、都内の小学校総数の約4%にすぎませんが（※全国では約1%）、どの学校も建学の精神に基づき、私学人としての誇りを持ち、特色ある教育を時代に即して実践してまいりました。ですから、私立小学校の数だけ独自の教育スタイルがあると言えます。すべてのご家庭に満足いただけるような「万能な小学校」は存在しません。保護者の皆様の教育的価値観と一致するような私立小学校を是非ともお探し下さい。

このような文章を書きながら、入試に向けての面談時の、保護者の皆様の緊張した面持ちや熱意を思い出していました。

小学校受験合格は、決してゴールではないません。合格の切符を手にしたとしてもここからがスタートです。そして仮に、ご縁がなかつたとしても、たまたま問題の傾向がお子様に合わなかつただけだと、本校について言えば、ボンクラでご子息を見る目の無い教職員がそろつっていただけなのだと思つていただき、お子様を責めるようなことだけはなさらないでください。そして、小学校受験が、家族の絆（きずな）をますます深め、お子様の粘り強さや集中力、創意工夫、コミュニケーション力などの「非認知能力」がぐんと高まつたこと 자체を喜べる場であつていただきたいと切に願っています。